和歌山県立 日高高等学校

SGH通信

第6号



2020年7月17日

主体性・計画力

状況を判断して、今自分がすべきことを 考えて行動できるようになった。

3年5組 德永咲希

地域防災分野

「乗客の命を守る安全のしおり」

今まで一年間をかけて同じグループで授業を進める ということがなかったので、とても大変でした。でも その分、周囲との協調性を養えたと思います。

先生から「何をしなさい」と指示されることのない 授業だったので、今、班でしている活動を十分に把握 し、班の一員としての役割を果たしていくことが、と ても大事でした。防災の知識も増えたのでよかったで す。

協働・チーム力

協力することの大切さ

3年1組 橋本 実久

地域防災分野「すべての人が安全に避難するには」

活動の中で、私たちはアンケート作成やその集計、ポスター作成に取り組みました。アンケート作成では内容を皆で考え、集計は手分けして行いました。ポスター作成は、構成を考える人と、見やすいようにポスターを作る人に分けて、行いました。

どれも、一人で考えたり、一人で集計したり、一人で作成することは不可能でした。皆で協力して行ったことにより、より良いものができあがったと思います。皆で協力して取り組むことの大切さを感じた一年間でした。

課題研究成果発表会(2)

~課題研究をすすめる中で自分の成長を感じたこと~



主体的に考えて行動すること

3年6組 阪本淑恵

地域サイエンス分野

「日高地方のメダカの生態と遊泳能力に迫る」

いつまでに、どのデータが必要で、そのためには何が必要でどのようにすればよいかを、自分たちで考えて計画的に動かなければならない。それを怠ると、詰め込みで、最後にしわ寄せがきてしまう。初めから調べる項目をすばやく決めておく必要があった。

チームなので、情報を共有する重要性を感じた。最後まで、どのような実験と調査をし、どのような点で比較して結果を出すのか、わかっていないメンバーもいた。そのような状況では何も進まないし、まして主体的に行動することなどできない。これらの反省点に気づいたことが私自身の成長である。

すべてを自分でしようとするのではなく、チームのメンバーに頼めるようになったこと

3年5組 上田 遥菜

地域産業分野「御坊でラーメン巡り」

今までは、何かを思いついてもなかなか人に頼むことができず、そこで勇気を使うよりも、全部自分でやってしまおうという考えでいました。しかし、班で活動を進めるうちに、みんなで協力して分担することで、効率の良さに加えて、仲間意識の獲得にもつながることに気づきました。

アンケート調査を行ったときの質問内容決定、調査後の集計、インタビュー調査の際の事前連絡、パンフレット作り、ポスター作りなど、総学で行ってきたすべての活動で協力しあえた結果、班で活動することの意味を学べた時間となりました。